

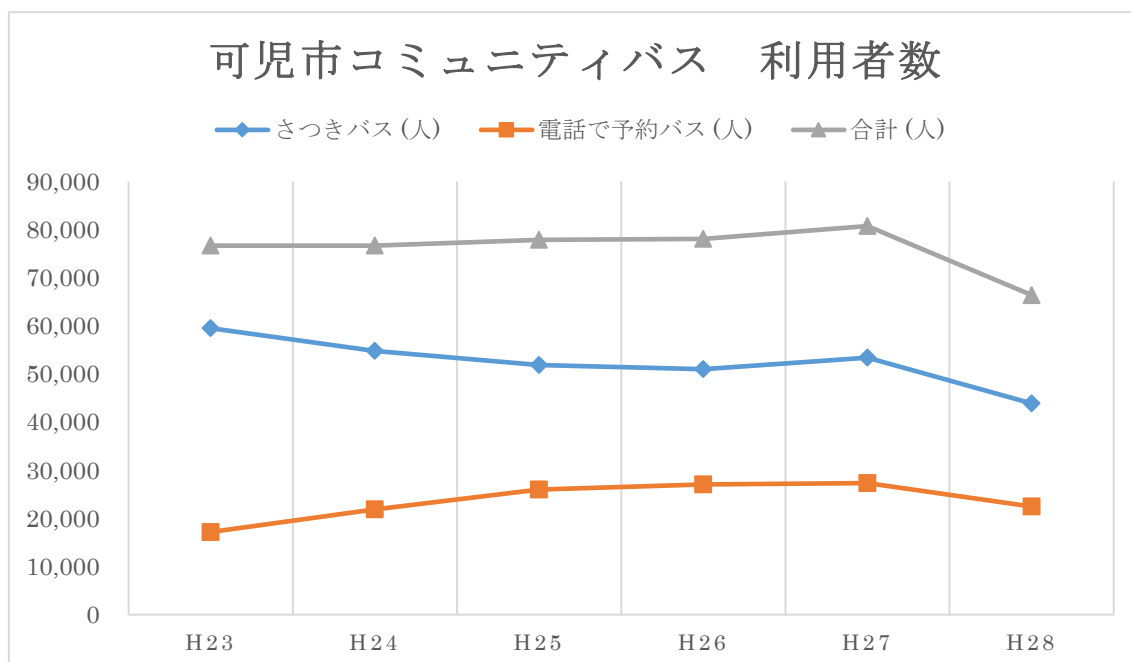
平成 28 年度可見市コミュニティバス事業実績報告について

1. 利用者数について

さつきバスは減少傾向、電話で予約バスは増加傾向にあり、コミバス全体では微増傾向にあります。今後は高齢化が進む中で利用者が増えていくことが予想されるため、より一層の運行改善及び利用促進を図っていきます。

	さつきバス		電話で予約バス		合計	
	(人)	前年度比 伸び率	(人)	前年度比 伸び率	(人)	前年度比 伸び率
H23	59,526	-	17,183	-	76,709	-
H24	54,788	0.92	21,898	1.27	76,686	1.00
H25	51,907	0.95	25,969	1.19	77,876	1.02
H26	51,009	0.98	27,098	1.04	78,107	1.003
H27	53,408	1.05	27,344	1.01	80,752	1.03
H28*	43,900		22,507		66,407	
H23年度からの比較	-6,118	0.90	10,161	1.59	4,043	1.05

※H29.1.31 時点



2. 現状運行のサービス改善について

(1) さつきバスの車両更新、AEDの導入

さつきバスは利用者の安全性、快適性を向上させることを目的に平成 26 年度から順次更新を行っており、9 月に新しい車両を導入し、すべて（5 台）の車両の更新が完了しました。

また、バス利用者の大半は高齢者であることから、万が一の際の安全確保のために、7 月よりさつきバスの全車両に AED を設置しました。

利用者からは「快適になった」、「気持ちよく乗れる」といった意見をいただいております。

(2) 「電話で予約バス」の停留所新設

「電話で予約バス」の停留所を 2 箇所（花トピア、大平西）新設しました。

地域の方や、施設利用者からは「利用しやすくなる」、「大変助かる」といった意見をいただいております。

今後は、現状運行のサービス改善を目的に、乗継ぎの改善や乗継ぎ停留所の表示方法の改善を目指していきます。

3. 乗降調査について

さつきバスの全路線全便において、乗降調査を行いました。調査結果はさつきバスのサービス改善への参考資料とすることや、地域公共交通網形成計画の策定の参考資料として活用していきます。

【実施状況】

実施日：11 月 24 日（木）、11 月 26 日（土）

利用者数：345 人（11 月 24 日：179 人 11 月 26 日：166 人）

【乗降調査 利用者の意見】

- ・定期券の発行を 2 ヶ月単位にできないか。（高齢者の方の年金受給が 2 ヶ月単位のため、その時期に合わせて購入したい。）
※現状は 1 ヶ月、3 ヶ月、6 ヶ月単位で発行しています。
- ・西部線について病院通いに利用しているため昼食後の増便をしてほしい。
- ・日曜日祝日も運行して欲しい。

- 定期券の 2 ヶ月単位の発行については、今後の検討課題としていきます。
- 西部線の増便については、次の再編時に利用状況等を考慮して、検討していきます。

4. 可児市公共交通利用促進事業について

(1) 運転免許証自主返納者に対する支援事業

運転免許証自主返納者の申請割合はH27年度は約54%、H28年度(3月6日時点)は約70%となっており、申請割合は増加しています。今後とも公共交通の利用機会創出のために事業を継続していきます。

【事業概要】

可児市在住での全ての運転免許証の取消手続き(自主返納)をした人に対し、東濃鉄道路線バス、市コミュニティバスのいずれかの乗車回数券(11枚綴り)を1度だけプレゼントするもの。

申請受付件数 97件(平成29年3月6日時点)

回数券内訳 東濃鉄道路線バス…21件 さつきバス…32件 電話で予約バス…44件

過去利用実績 H27:81件(H27年11月2日~H28年3月31日)

※可児警察署の運転免許証市内自主返納者数

H27年度:149人 H28年度:139人(H29年3月6日時点)

(2) さつきバス無料DAY

さつきバス全路線において運賃無料で利用できる「さつきバス無料DAY」を10月22日(土)、11月19日(土)に実施しました。平成27年度より利用者数は減少しましたが、10月、11月の他の土曜日と比べ倍近い利用があったため、試乗の機会を創出する一定の効果がありました。今後も当事業を継続し、公共交通利用を推進していきます。

【実施状況】

実施日 10月22日(土):「産業フェア in 可児2016」、「花フェスタ秋のバラまつり」に合わせて実施

11月19日(土):「第35回可児農業祭」に合わせて実施

利用者数 546人(10月22日:328人、11月19日:218人)

過去利用者実績 H26:212人、H27:689人

平成 29 年度可児市コミュニティバス事業予定について

平成 29 年度については下記の事業を予定しております。

- 日曜日・祝日運行の実証運行（平成 29 年 7 月～）（新規）
- 地域公共交通網形成計画に係る基礎調査（アンケート調査等）の実施（新規）
- 公共交通利用促進事業（継続）
 - ・運転免許証自主返納者に対する支援事業
 - ・さつきバス無料 DAY の実施（2 回）
- 乗降調査の実施（継続）
- 現状運行のサービス改善（継続）

【地域公共交通網形成計画について】

可児駅東土地区画整理事業に伴って建設する可児駅自由通路と（仮）可児駅前“子育て・健康・にぎわい空間”施設が平成 29 年度末に完成、可児駅前広場整備が平成 30 年度末に完成し供用開始されることから、コミュニティバスの起終点を現在の市役所前から駅前広場に移行し、可児駅前をターミナル拠点として機能させ、公共交通が相互に連携する公共交通体系の構築を目指します。

また、可児市生活交通ネットワーク計画の計画期間が平成 30 年 6 月に終了するため、平成 31 年度にはこれに代わる計画として、上位計画である総合計画、総合戦略、都市計画マスタープラン等の関連計画との整合を図り、まちづくり施策、観光施策と連携した地域活性化の一翼を担う可児市地域公共交通網形成計画の策定を予定しています。

計画策定のためには、地域特性や市内公共交通の現状を把握するとともに、公共交通体系の見直しに際しての、市民の移動実態や需要を把握する必要があります。

また、公共交通の相互連携を図るに際しては、地域住民の行動変容状況や利用意識等について調査することが必要となってくるため、平成 29 年度においては基礎調査（アンケート調査等）を実施します。